

報告 - ① 令和4年度林業振興施策の取組・進捗状況について

公的森林整備の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
森林経営計画の認定	5件 大谷、井中、谷川、小新屋、東芦田	—
間伐面積（100%作戦事業分）	274.99ha	1,440万円 （県基金127万8千円）
更新伐面積・植栽・防護柵設置 （広葉樹林化促進事業）	地拵え 1.20ha 植栽 1.20ha 防護柵 1,327m	149万1千円
作業道開設延長（100%作戦事業）	11,300m	918万円
作業道開設延長（広葉樹林化促進）	実績無	—
作業道開設延長（市単独事業分）	29,500m	2,843万9千円
高性能林業機械の導入支援	ハーベスタ 1台	562万5千円
林道整備事業（路面補修）	実績無	—

自治会等地域組織による森林整備活動の推進

森林山村多面的機能発揮対策交付金	14組織 活動面積 55.3ha	115万8千円
住民参画型森林整備事業 （県民緑税事業）	実施団体無	—
丹波の里山づくり体験促進事業 （丹波の森構想30周年記念事業）	チェーンソー安全講習受講者 28名	市負担無

丹波市産材の利用促進

公共建築物等への木材の利用推進 （丹の木づかい推進プラン）	山南中学校統合庁舎	譲与税充当 3,000万円
地元産材を用いた住宅建築への支援	27戸 使用材積 380.09 m ³	753万3千円

県民緑税を活用した森林整備の推進（※は県直営事業のため事業費の記載無し）

野生動物共生林整備※	（整備造成）	戸坂Ⅰ 6.63ha
	（調査）	戸坂Ⅱ 40.0ha
里山防災林整備※	（整備造成）	森 5.14ha
	〃	領町 4.97ha
	（調査）	市ノ貝 40.00ha
	〃	野瀬 51.70ha
緊急防災林整備（渓流対策）※	（整備造成）	2 渓流（氷上、南油良）
	（調査）	2 渓流（南油良、下竹田）
緊急防災林整備（斜面对策）	12箇所 49.51ha	2,406万3千円 （全額県費）
針葉樹林と広葉樹林の混交林整備	実績無	—

森林環境譲与税を活用した森林整備の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
森林吸収源整備事業	整備面積 55.89ha 作業道 830m	3,326万2千円
未整備林調査支援事業	実績無	—
経営管理集積林整備事業	—	—
緊急里山林整備事業	整備業務 18箇所 調査業務 8箇所	4,081万7千円
林業事業体等活動促進事業	1事業体 1講習	7千円
未整備林広葉樹転換促進事業	3箇所（井中・中佐治・上成松） 環境機能増進伐 2.71ha 植栽 1.63ha 作業道 414m 獣害防護柵 1,093m	865万1千円

林業普及推進員制度の活用

林業普及推進員（15名）の自治会等への派遣・協議	3自治会等 延9回 （生郷5回・栗住野3回・地頭1回）
林業普及推進員レベルアップ講座の開催	1回開催予定（2月下旬）

森林病虫害防除対策の推進

事業名・内容	実績値	事業費（市費）
松くい虫特別防除業務	柚津、鹿場、下三井庄、阿草、五ヶ野 散布面積 105.9ha	1,133万5千円 （全額県費）
景観伐倒業務 （過年枯れ松林整備）	柚津 伐採材積 100.0 m ³	114万4千円 （57万2千円県費）

気象害による倒木等の処置対策

簡易土留工設置事業	敷設土留工 62基 延205m	266万5千円
-----------	-----------------	---------

その他

緑化事業 （緑の募金関連）	職場募金 205,219円 団体募金 6,106円 窓口募金 1,402円 計 212,727円
------------------	---

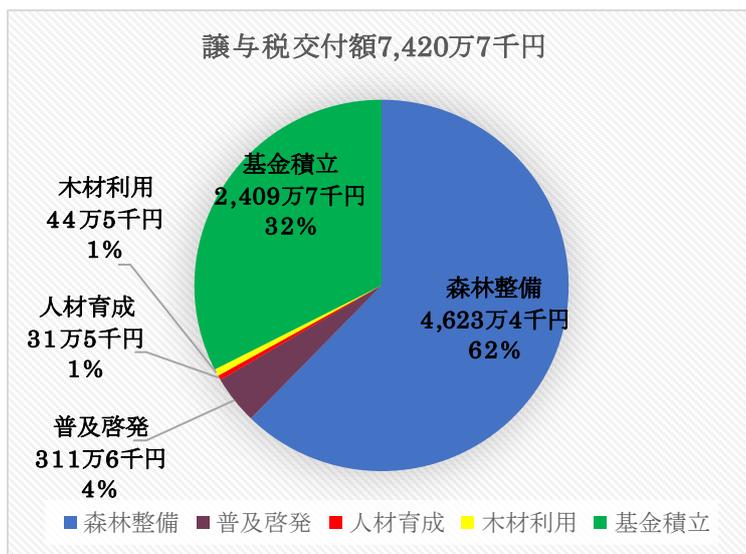
その他（地域産材を活用した地域経済活性化）

事業名	事業概要	補助額
廃校を活用した新たな中山間地域のビジネスモデル構築事業 （地域経済循環創造事業）	【事業主体】（株）フォレストドア 【事業内容】 旧神楽小学校を活用し、宿泊型研修施設、森林の情報発信や木の直売所、木のレンタルオフィス運営を行い丹波市産材を主とした地域経済活性化を図る。	市：7,334千円 国：14,666千円 計：22,000千円

報告 - ② 森林環境譲与税 使途内訳 (令和3~5年度)

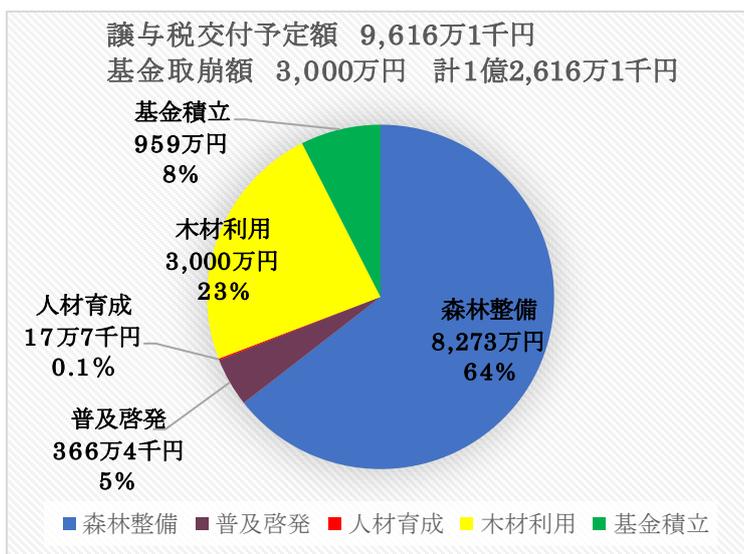
【令和3年度決算】(単位：千円)

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	20,156
	森林吸収源整備	22,744
	未整備林調査支援	53
	未整備林広葉樹転換促進	3,281
普及啓発	林業普及推進員活動	26
	制度活用経費	270
	ハッピーバース応援	2,820
人材育成	森林づくり協議会	71
	林業事業体等活動促進	135
	木質バイオマス搬出支援	109
木材利用	公共建築物の木造木質化	445
基金積立		24,097
合計		74,207



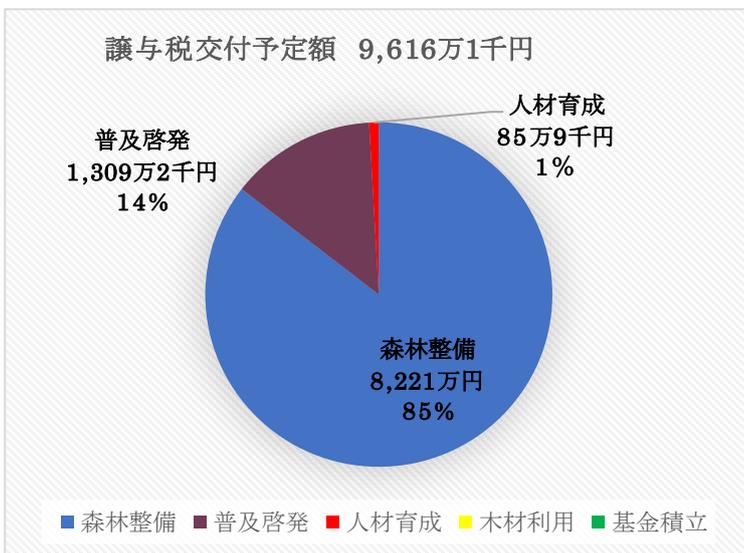
【令和4年度決算見込み】(単位：千円)

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	40,817
	森林吸収源整備	33,262
	未整備林広葉樹転換促進	8,651
普及啓発	林業普及推進員活動	10
	制度活用経費	424
	ハッピーバース応援ほか	3,230
人材育成	森林づくり協議会	59
	林業事業体等活動促進	7
	木質バイオマス搬出支援	111
木材利用	公共建築物の木造木質化 (山南中学校統合庁舎)	30,000
基金積立		9,590
合計		126,161



【令和5年度予算】(単位：千円)

区分	事業名	事業費
森林整備	緊急里山林整備	36,000
	森林吸収源整備	39,598
	未整備林調査支援	305
	未整備林広葉樹転換促進	2,307
	Jクレジット制度活用	4,000
普及啓発	林業普及推進員活動	49
	制度活用経費	257
	ハッピーバース応援ほか	5,950
	ビジョン改定経費	6,836
人材育成	林業事業体等活動促進	210
	森林づくり協議会	169
	木質バイオマス搬出支援	480
合計		96,161



協議事項—① 令和5年度林業振興施策の概要について

< 1. 推進目標 >

公的森林整備	目標値	令和4年度実績 見込み
森林経営計画の認定	5 件	5 件
間伐・更新伐面積	造林事業 300ha	274.99ha
	森林環境譲与税 70ha	55.89ha
作業道開設延長	40,000 m	40,800m

自治会等地域組織による森林整備	目標値	令和4年度実績 見込み
森林山村多面的機能発揮対策交付金	15 組織 活動面積 60ha	14 組織 55.3ha
丹波の里山づくり体験促進事業 (丹波の森構想 30 周年記念事業関連)	チェーンソー安全講習会 受講者 30 名	28 名

県民緑税を活用した森林整備（予定）	事業地	計画量
野生動物共生林整備（整備造成）	戸坂Ⅱ	7.00ha
〃（調査）	与戸	39.40ha
里山防災林整備（整備造成）	野瀬、市ノ貝	13.20ha
〃（調査）	池尾、田井縄	60ha
住民参画型森林整備	新規要望無	—
緊急防災林整備（溪流対策）	1 箇所（下竹田） 2 箇所（石生、西野々）	17.10ha
〃（整備造成）		30.00ha
〃（調査）		
緊急防災林整備（斜面对策）	5 箇所	42.00ha
針葉樹林と広葉樹林の混交林整備	新規要望無	—

< 2. 森林環境譲与税活用事業の取組（令和元年度から開始5年目） >

森林環境譲与税活用
事業（森林整備）

◎森林環境譲与税活用事業の推進

- ・温室効果ガスの排出削減や災害防止等を図るため、「森林環境税」が創設され、令和元年度から「森林環境譲与税」として国から県市町村に配分。この新たな財源を活用し、これまでの既存事業では取り組めなかった未整備林の環境整備や木材利用の推進等を実施する。

[令和5年度予算額 9,616万1千円]
(令和4年度と同額)

≪今後の譲与額見込額≫

- ・令和6年度～ 1億1,600万円

◎緊急里山林整備事業

- ・市民（地域）ニーズを第一に！（50箇所以上の要望地）
人家裏危険木伐採など“山際に居住の市民の不安解消”

令和5年度は9地区15箇所で整備を計画

[令和5年度予算額 3,600万円]
(令和4年度予算額の約90%)

◎森林吸収源整備事業

- ・手入れが行き届いていない“未整備林”への対応
特に荒廃の著しい森林を「災害に強い森づくり」の視点で環境整備に取り組む。

[令和5年度予算額 3,959万8千円]
(令和4年度予算額の1.2倍)

◎未整備林広葉樹転換促進事業

- ・未整備林内の人工林において、森林の公益的機能の発揮が期待できる広葉樹へ転換し、「災害に強い森づくり」の視点で中長期にかけ混交林化を目指す。

[令和5年度予算額 230万7千円]
(令和4年度予算額の約30%)

◎資源循環型更新伐促進事業

- ・利用期を迎え、高齢級化に伴い二酸化炭素吸収量が減少傾向にあるスギやヒノキの人工林について、「資源の循環利用」の視点で人工林の再造林を図り、森林による二酸化炭素の吸収効果を最大限発揮することを目指す。

[令和5年度予算額 ※事業が具体化した段階で予算化]

◎J-クレジットプロジェクト計画策定

- ・国が進めるカーボンニュートラルを受けて脱炭素社会の実現を目指し、市有林において、制度活用の手法構築と効果検証を行い、新たな付加価値の創出による森林整備の促進につなげていく。

[令和5年度予算額 400万円] ※新規

<p>森林経営管理制度</p>	<p>森林所有者の意向に応じ市が森林管理を受託する制度 制度活用に向けた手法の検討を行う。</p>
<p>林業普及推進員制度 の活用</p>	<p>令和3年度からの2年任期を迎え、新たに2年の任期更新 森林に対しての不安や悩みを持つ自治会等への派遣 林業普及推進員（委嘱者15人）のレベルアップ講座 活動交流会による情報交流</p>
<p>丹波市産材利用促進</p>	<p>＜丹（まごころ）の木づかい推進プランに基づく取組（H31.4策定）＞</p> <p>取組目標 2028年度（令和10年度）を目標年度とし、以下の推進目標を定める。</p> <p>☆木造化の達成率 50% 木造化公共建築物（施設数）／木造化対象公共建築物（施設数）</p> <p>☆木質化の達成率 100% 木質化公共建築物（施設数）／木質化対象公共建築物（施設数）</p> <p>○木造・木質化への取組を進める公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山南地域統合中学校新築工事（令和4年度完成） ＜令和4年度森林環境譲与税充当額 3,000万円＞ <p>※令和6年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市産材を活用した市内中学校生徒用の机・椅子の更新 ・市島複合施設の木質化 <p>○地元産材利用促進事業・・・〔目標：使用材積400m³〕 ＜令和5年度予算額 800万円（※一般財源）＞</p>
<p>森林環境譲与税を活用した普及啓発事業</p>	<p>○ハッピーバース応援ギフト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生祝い品として、「木育」の視点で市内産材木製玩具を贈呈（健康課） ＜令和5年度森林環境譲与税充当予定額 555万円＞ <p>○生ごみ処理機（キエーロ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資源循環」の視点で、市内産材により作製される生ごみ処理機の購入補助支援（環境課） ＜令和5年度森林環境譲与税充当予定額 40万円＞
<p>丹波市森林づくりビジョン改定版策定</p>	<p>平成24年度の策定から10年目の節目を迎えるにあたり、現代林業の動向や各種新制度を盛り込み、長期的視点で森林を見据えた専門的知見を加えたビジョンとするため、改定業務委託を行います。（完成時期：令和5年度末） ＜令和5年度予算額 660万円＞</p>
<p>森林環境譲与税 基金積立状況</p>	<p>○基金の設置と運用の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に建設予定の公共建築物等の木造化・木質化などに必要な財源として、計画的に積みたてながら効果的に運用する。 ＜令和4年度末残高見込 約1,560万円＞

丹波市の公的森林整備 -森林の現況にあわせ整備メニューを考えます-



< 3. 公的森林整備に係る令和5年度予算(案) >

事業名	どんな森林で	整備内容	財源	R5 要求額
造林事業 ① 森林管理100%作戦推進事業 ② 作業道整備事業	伐採木を搬出するための森林作業道が整備しやすい、森林経営に向いている“経済林”と呼ばれる森林。	森林経営計画と呼ばれる事業計画に基づき、間伐や作業道を整備する。伐採したスギやヒノキは、建築材やチップ、ベニヤ板などの原料として原木市場へ運搬される。	造林補助金及び一般財源	①1,737万8千円 ②4,697万6千円
森林吸収源整備事業	これまで計画的な間伐などの手入れがされていない“未整備林”。	伐採した木は等高線上に並べ、表土流出を防ぐ「簡易土留工」として活用。	森林環境譲与税	3,959万8千円
緊急里山林整備事業	倒木により人家に危険を及ぼす恐れのある“危険木”の伐採、周辺環境を阻害する竹林の整備などが必要な森林。	前頁「里山防災林整備」の採択要件5ha以上の確保が難しい小規模な事業地を対象とする。自治会要望に基づき実施。	森林環境譲与税	3,600万円

資源循環型更新伐促進事業	主伐期を迎え、高齢級化に伴い、吸収量が減少傾向にあるスギ・ヒノキの人工林において、若齢林に更新を図ることにより、森林吸収量の向上が望まれる森林。	主伐期を迎えた人工林を若齢林に更新を行い、間伐の着実な実施に加えて、「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進めるため、人工林の再造林を図る。	森林環境譲与税	事業が具体化した段階で予算化
未整備林広葉樹転換促進事業	未整備林内の高林齢なスギ・ヒノキの人工林において、水源かん養や土砂流出防備など森林の公益的機能の発揮が期待できる広葉樹への転換が望まれる森林。	手入れ不足の人工林を対象に、「環境機能増進伐（＝地表に光が届く程度の強度間伐）」を行い、鹿の不嗜好性植物や早生樹などを植栽し広葉樹林や混交林への転換を図る。	森林環境譲与税	203万7千円
緊急防災林整備【斜面対策】	急峻な地形により伐採木を搬出するための森林作業道が整備しにくい森林。	伐採した木は等高線上にたれば、表土の流出を防ぐ「簡易土留工」として活用する。	県民緑税	令和5年度より県営事業に移行したため市予算措置なし
里山防災林整備	倒木により人家に危険を及ぼす恐れのある“危険木”の伐採、周辺環境を阻害する竹林の整備などが必要な森林。	整備が必要であるとされる森林面積が5ha以上と比較的大規模な集落裏などを対象とする。	県民緑税	※県営事業のため市予算措置なし
針葉樹林と広葉樹林の混交林整備	手入れの遅れた山頂付近などの高林齢なスギ・ヒノキの人工林。森林の機能が弱っている森林。	部分的に皆伐し、跡地に広葉樹を植栽。獣害防護柵の設置により広葉樹林群を育てる。	県民緑税	令和5年度より県営事業に移行したため市予算措置なし

今後の林業施策展開に向けた検討課題と新たな取組について —森林環境譲与税の施策推進—

令和4年度及び令和5年度は9,161万円、そして、課税開始となる令和6年度は約1億1,600万円と、森林環境譲与税は大きな増収となります。課税が始まることで、譲与税の活用状況に対し、一層の注目を受けることとなります。従来からの造林事業を始めとした現行の公的森林整備施策を推進しつつ、更なる施策を展開していく必要があります。

(1) 市民（地域）ニーズへの対応

①緊急里山林整備の積極的な実施 **継続**

人家裏の危険木伐採を進め、山際居住の市民・自治会の不安解消につなげる。

- ・令和4年度までの実績 59件
- ・令和5年度の実施計画 15件
- ・令和6年度以降の計画 43件

②維持管理が行き届かない山裾の里山林や竹林等を地域課題として位置づけ、支援・整備メニューを検討 **新規**

既存のメニューでカバーできず、また、マンパワー不足のため所有者や地域自治会による維持管理が行き届かない里山林や竹林への対策を、有害鳥獣防止や集落内の安全対策といった地域課題の視点により整備メニューを検討し、令和6年度での具現化を図る。

(2) カーボンニュートラルに向けた森林管理に係る取組

温室効果ガスの排出量削減と並行し、森林が持つ吸収量を高めることで、全体として排出量をゼロにする「カーボンニュートラル宣言」を受け、脱炭素社会に向けた取組が展開されています。

丹波市においても、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しており、森林が持つ環境保全機能の向上に向け、更なる森林の適正管理を進めていく必要があります。

<J-クレジット制度を活用した市有林整備> **新規**

脱炭素社会に向けた取組の1つである「J-クレジット制度」を市有林において活用し、森林の適正管理を進めるとともに、吸収量のクレジット化による新たな付加価値の創出を図ることで、更なる森林整備と環境保全の推進を図ります。

(令和5年度の取組み)

- ・市有林における経営計画（施業計画）の作成
- ・令和6年度クレジット化を目指し、「J-クレジットプロジェクト計画書」の作成

(3) 丹波市森林づくりビジョン（改定版）の作成 **新規**

平成24年9月に策定以後、10年が経過している現行ビジョンについて、これまでの取組の成果を検証するとともに、「森林環境譲与税」や「森林経営管理制度」といった新たな林政状況を受け、行政、所有者、市民、林業関係事業者がどのような役割を担っていくべきかを再検討し、これから目指すべき森林林業のあるべき姿を明らかにする「丹波市森林づくりビジョン（改定版）」を、令和5年度末完成を目指し、本格的な検討を進めます。